

それでは早速、衆議院予算委員会で行われた質疑応答の内容を紹介しよう。なお、読者にわかりやすくするために、筆者が一部加筆したことをご了解いただきたい。詳細は、衆議院のホームページ上の動画や議事録でご覧頂きたい。

**鈴木克昌 議員**

**成長戦略の決め手となると私が信じてやまないお話し**をさせていただきたいと思います。ここに「見本市・展示会場面積」の世界ランキング表があります（下の図1）。



全閣僚が出席する前で下記の表をもとに、「日本の展示会場が小さすぎる」と取り上げられた歴史的瞬間。（画像は NHK テレビ）

「日本の展示会場は相当大きいだろう」と国民の皆さんは思っておられると思いますが、実は、**日本最大の東京ビッグサイト（8万㎡）でも世界で68番目にすぎない**。世界最大はドイツのハノーバーにある47万㎡です。黄色い文字は中国をはじめとするアジアです。特に中国が今ものすごい勢いで、展示会場の建設を進めています。

そうした状況がどんな風になっているかというのが、もう一つの棒グラフの資料です（次頁の図2）。このように、日本の展示会場

展示会場面積 世界ランキング <small>（数字の単位は万㎡）</small>			資料提供：日本展示会協会 （2012年現在）
日本最大の 東京ビッグサイトでも 68番目			
1. ハノーバー (独)	47.0	24. ベルリン (独)	16.0
2. フランクフルト (独)	35.5	24. ニュルンベルグ (独)	16.0
3. ミラノ (伊)	34.5	26. 武漢 (中)	15.0
4. 広州 (中)	33.8	27. バンコク (タイ)	14.0
5. ケルン (独)	28.4	28. モスクワ (ロシア)	13.2
6. デュッセルドルフ (独)	26.2	29. アトランタ (米)	13.0
7. パリ (仏)	24.2	30. コペンハーゲン (デンマーク)	12.3
8. シカゴ (米)	24.1	31. ペローナ (伊)	12.2
9. バルセロナ (西)	24.0	32. ヒューストン (米)	12.0
10. バレンシア (西)	23.0	32. 義烏 (中)	12.0
11. パリ (仏)	22.7	32. バリ (伊)	12.0
12. モスクワ (ロシア)	22.6	35. プルノ (チェコ)	11.9
13. バーミンガム (英)	20.1	36. ローマ (伊)	11.8
14. 上海 (中)	20.0	37. バルセロナ (西)	11.5
14. ボローニャ (伊)	20.0	38. ブリュッセル (ベルギー)	11.4
14. マドリッド (西)	20.0	38. リヨン (仏)	11.4
17. オランダ (米)	19.0	40. ライツツィヒ (独)	11.1
18. ラスベガス (米)	18.4	41. エッセン (独)	11.0
18. 重慶 (中)	18.4	41. ヘアニング (デンマーク)	11.0
20. ミュンヘン (独)	18.0	41. 南京 (中)	11.0
20. ザグレブ (クロアチア)	18.0	41. 成都 (中)	11.0
22. 広州 (中)	17.0	45. リミニ (伊)	10.9
23. バーゼル (スイス)	16.2	46. ソウル (韓)	10.8
		46. ビルバオ (西)	10.8
		48. ホズナン (ポーランド)	10.7
		49. 北京 (中)	10.6
		50. 瀋陽 (中)	10.5
		50. シュトゥットガルト (独)	10.5
		50. 深セン (中)	10.5
		53. ジュネーブ (スイス)	10.2
		53. ニューオーリンズ (米)	10.2
		55. シンガポール	10.0
		55. ハルマ (伊)	10.0
		55. ロンドン (英)	10.0
		58. イスタンブール (トルコ)	9.8
		59. ユトレヒト (蘭)	9.7
		60. ラスベガス (米)	9.6
		60. 東莞 (中)	9.6
		62. アムステルダム (蘭)	8.7
		63. ハンブルグ (独)	8.6
		63. タラス (米)	8.6
		63. フリードリッヒスハーフェン (独)	8.6
		66. 香港 (中)	8.3
		67. 上海 (中)	8.1
		68. 東京ビッグサイト (日)	8.0

図1: 展示会場面積の世界ランキング。黄色い字はアジアの都市。

総面積は35.1万㎡、中国は475万㎡、アメリカは世界一の671万㎡であります。恐らく国民の皆さんも日本

がこんな状況になっているなんてと思われるかもしれませんが、しかし、これが現実であります。

申し上げたいのは、展示会の経済波及効果が大きいということです。先週私が訪れた展示会「スマートエネルギーWeek」でも、3日間で国内外から8万人が見えています。経済波及効果だけでも相当大きなものがあったというデータをいただいております。ぜひ一つ、**国の成長戦略における早急にやらなければいけない政策の一つとして、この展示会場の大きなものを造っていく**ということを推進していただきたい。

(中略)

先ほど紹介した「スマートエネルギーWeek」は3日間開催されましたが、26カ国から1,585社が出展、専門家が88,248名来場しました。商談金額が1,800億円、1万3千人が宿泊、その経済効果は飲食・宿泊・交通で73億円、海外から8,317名が参加し、会期中のセミナーに参加された方が、11,024名です。このように展示会は本当に経済活動が大きなものだと思っておりますので、ぜひ一つ、この展示会場についてご答弁をいただきたいと思っております。

### 安倍晋三 内閣総理大臣

ただ今、国際見本市について、最初に例として、「日本は68位」というお話でありました。安倍政権としては、「世界から投資を呼び込んでくる、あるいは、世界からいろいろな方々がビジネスチャンスを求めて日本にやってきて、その中において、日本は日本の商品・製品を紹介する、そういう場を作っていくたい」、「まさに日本をアジアのゲートウェイとしていきたい」という観点から言えば、**大きな、機能的な国際見本市会場を日本に造るということは、重要なことである**と思っております。

私も実際に東京ビッグサイトに行って、最初は「こんなに大きなところがあるのか」と思ってびっくりしたのですが、しかしその後「ハノーバーメッセ(ドイツにある世界最大の展示会場)」に行く機会がございまして、あまりにも大きいので相当びっくりしたという経験をしたわけです。**この見本市会場に我々も力を入れていきたい**と、改めて、鈴木委員のご指摘で、そのように思いました。(以下略)



下記の資料を指さしながら、大規模展示会場の必要性を訴える鈴木克昌議員。日本の小ささに、多くの出席者が驚いたように筆者は感じた。

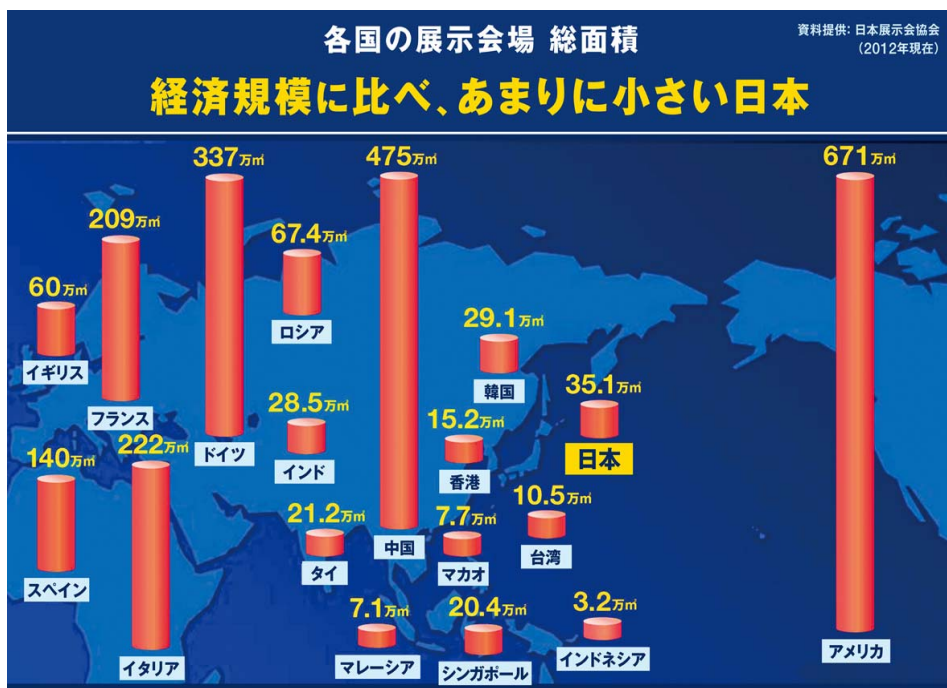


図2: 各国の展示会場総面積の比較。日本はビッグサイト、幕張メッセなど全てを合計しても35万㎡で、中国の13分の1にすぎない。これでは経済戦争に負けてしまう。



「大きな会場を日本に造るということは、成長戦略上、重要だ」と答弁する安倍総理